

第一期国語科——三年間の文法の復習——

【文節分け】

次の各文を例にならって文節に区切りなさい。

例…わたしは／今年／高校生に／なる。

- ① 七月八日の午後二時から四時まで同窓会を開きます。
- ② 常識とは世間をよく知っているといることである。
- ③ 私の町では古い祭りや行事などの伝統が残っている。
- ④ 山道で名も知らない美しい花を見つけた。

【単語分け】

次の各文を例にならって単語に区切りなさい。

例…わたし／は／今年／高校生／に／なる。

- ① 科学文明が私たちの生活を大きく変えた。
- ② 雪の多い地域では体育でスキーを習うらしい。
- ③ スポーツをして疲れると手足はまるで物のように感じる。
- ④ ある春の日に電車から見た満開の桜が忘れられない。

【文の成分】

次の——線の部分の文の成分を後から選びなさい。

- ① スポーツ界に期待の新星が現れた。 ()
- ② ああ、昔そんなことがあったなあ。 ()
- ③ 進学のために都会へ移り住んだ。 ()
- ④ 道端でおばあさんたちがずっと話していた。 ()
- ⑤ プレゼントを買うため、お店に出かけた。 ()

ア	主語（主部）	イ	述語（述部）
ウ	修飾語（修飾部）	エ	接続語（接続部）
オ	独立語（独立部）		

【動詞 活用の種類と活用形】

次の——線の部分の動詞の活用の種類と活用形を答えなさい。

- ① 悪天候で一日中家から出ない。 ()
- ② 迷ったときは自分の信じる道を選べ。 ()
- ③ 病気の治療に新薬を用いる。 ()
- ④ いよいよ台風が来る季節になった。 ()
- ⑤ 明るい未来を想像すれば希望がわく。 ()
- ⑥ 第一志望合格を目指して頑張る。 ()

【品詞、意味・用法の見分け】

次の——の部分と文法的に同じ意味・用法のものはどれか。

- ① 私には小さな夢がある。 ()
ア 父は足が大きい。
イ 小さいころからの夢が叶った。
ウ 外で大きな音がした。
エ このおかしい動画を見た。
- ② 空飛ぶ車はまだ発明されていない。
ア 空に雲一つない。
イ 彼の果たす役割は小さくない。
ウ まだ結果が出ない。
エ 世の中に絶対の真実はない。
- ③ 音楽を聴きながら家事をする。 ()
ア お茶をしながら話そう。
イ 知りながら知らん顔をする。
ウ 影ながら協力しよう。
エ 苦しいながらも頑張る。
- ④ これは現代での常識だけれど昔は違った。 ()
ア 病気がなった。けれど治った。
イ 疲れていた。けれどやる気はある。
ウ 服を買ったけれど全然着ていない。
エ 旅が好きだ。けれど家が一番だ。
- ⑤ 父と散歩に出かけた。 ()
ア 槍が降ろうと私は行く。
イ いよいよ受験当日となった。
ウ 帰ろうよと弟は言った。
エ 級友と共同作業をする。
- ⑥ そんなこと小学生でもできるよ。 ()
ア いくら遊んでも足りない。
イ お茶でも飲みませんか。
ウ 風邪でも引いたら大変だ。
エ この地域は夏でも涼しい。
- ⑦ このところ雨ばかり降っている。 ()
ア 後は片付けるばかりだ。
イ 作品が完成したばかりだ。
ウ 降り出さんばかりの雲だ。
エ 試験が終わったばかりだ。
- ⑧ あのホテルからの眺めはすばらしい。 ()
ア 彼は五人兄弟らしい。
イ いかにも子供らしい考えだ。
ウ 夏らしい陽射しがさす。
エ 愛らしいパンダの赤ちゃん。